

生きて、生きて、生きぬいて

～戦傷病者とその家族が語る戦中・戦後の労苦～

開催趣旨

終戦から半世紀余りが経過して、戦争体験者は年毎に少なくなっています。

いまなお戦傷病者とその家族の労苦は続いています。その労苦はさまざまで、戦傷病者とその家族の数だけ存在します。「さまざまな労苦」とは、どのようなものがあるのでしょうか。

戦中・戦後を生きぬいて、さまざまな労苦を乗り越えた戦傷病者とその家族の体験を、証言映像・実物資料・図書によりご紹介いたします。



【主催】 しょうけい館

【会期】 平成19年8月1日(水)～9月2日(日)

【入場料】 無料

【開館時間】 10:00～17:30 (入館は17:00まで)

【上映時間】 10:00/11:30/13:00/14:30/16:00

【休館日】 毎週月曜日

【内覧会】 平成19年7月31日(火) 15:00～17:00

【所在地】 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 共同ビル九段2号館

TEL03(3234)7821 Fax03(3234)7826

【交通】 地下鉄〔九段下駅〕から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線6番出口)

JR〔飯田橋駅〕から徒歩

【ホームページ】 <http://www.shokeikan.go.jp/>

【その他】 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

証言映像

今回、新たに収集した証言映像を中心にご紹介します

(敬称略)

■前期 8/1～8/12

【傷痍軍人の妻として】



療養中の写真(故・大神録郎)

証言 大神つや子(故：大神録郎)

長谷川はつ子(故：長谷川照雄)／大阪府

戦争中に結婚した傷痍軍人の妻の対談。

大神さんの夫、録郎さんは昭和17年8月に中国で右眼を負傷し失明。その後、大阪の陸軍病院で療養中、看護婦をしていたつや子さんと出会い、翌18年に結婚した。

長谷川さんの夫、照雄さんは昭和19年12月、フィリピンにて右足を負傷。昭和19年にはつ子さんと見合い結婚をしたが、すぐに戦地に赴いたため、結婚後初めて顔をあわせたのは、負傷後の入院先の病室だった。その後の労苦を語る。

【遙かなる故郷】

証言 菅原光雄／北海道

【字を書く手を受傷して】

証言 上良市雄／大阪府

【衛生兵ゆえの感染】

証言 築山英二／大阪府

【支えられた歩み】

証言 蔀肇／北海道

【療養所は大きな家族】

証言 渡邊重男・文枝／神奈川県

【赤レンガのめくもり】

証言 松田康人／北海道

■後期 8/14～9/2

【父のまなざし】

証言 宮下茂子(故：高松秀次)／北海道

【伸びきった最前線での受傷】 証言 南野万吉／大阪府

昭和17年2月に現役入隊。陸軍の歩兵として中国での警備と戦闘にあたるが、芷江作戦では補給がないまま行軍を続けた。昭和20年5月、中国湖南省で敵に狙撃され下顎骨貫通銃創。すぐに後送され治療を受けたが、舌を負傷したため、食べることや話すことに不自由を感じる時がある。

【衛生兵のビルマ戦線】

証言 辻新次・フミ子／大阪府

【親指が支えた人生】

証言 三宅一志／大阪府

【受傷した身にまた召集が】

証言 黒川初夫／大阪府

【平和の光を見つめて】

証言 武田豊／北海道



受傷時の血がついた雑のうと水筒

展示資料

証言映像との関連で、当館所蔵の資料をご紹介します
(敬称略)

■前期 8/1～8/12

○受傷《戦中の労苦》

「義眼」初瀬尾清義 岐阜県 「義足」齋藤悌市 千葉県
「軍袴」塩澤サイ 長野県

○傷病とともに《戦後の労苦》

「義手(ヘチマ製)」古野四郎 滋賀県
「症状経過書」嵯峨山温子 東京都

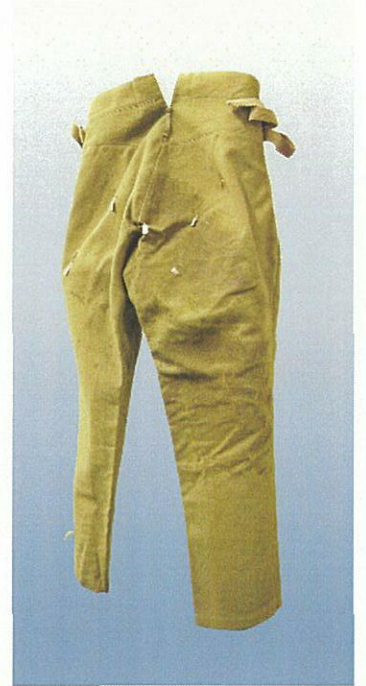
■後期 8/14～9/2

○受傷《戦中の労苦》

「義指」山本満平 神奈川県 「摘出弾」楠木正章 長崎県
「現認證明書」岸久子 愛知県 「義足」大田清三郎 京都府

○傷病とともに《戦後の労苦》

「戦傷失明杖」森セツ 北海道 「症状経過書」岩倉三栄子 石川県
「義足」茅花満津實 北海道

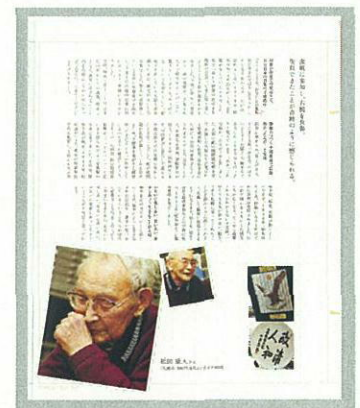


「軍袴」塩澤サイ 長野県
受傷時の血が付着したもの

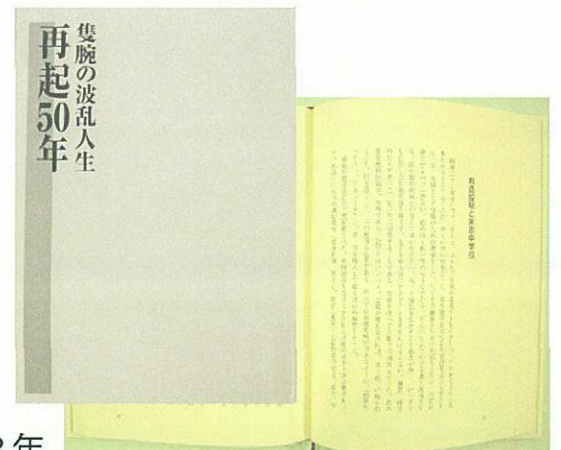
図書

○体験記

- 菅原光雄「先輩たちの物語～国境守備隊兵の戦争体験」
『苫小牧民報』平成17年6月1日～29日(20回掲載)
- 部 肇 「ソ連軍に病院を追い出されて」
『傷痍軍人会札幌支部四十年史』平成5年
- 松田康人「山西作戦従軍記」
『傷痍軍人会札幌支部四十年史』平成5年
- 松田康人「戦争体験者から、今を生きる若い世代へ」
『ノッチェシティ』vol.143、平成18年2月17日
- 武田豊「戦争体験者から、今を生きる若い世代へ」
『ノッチェシティ』vol.143、平成18年2月17日
- 古野四郎『隻腕の波乱人生再起50年』平成11年
- 茅花満津實「振り返る五十年のあゆみ」
北海道傷痍軍人会江別支部『終戦五十年を回顧して』平成8年



松田康人「戦争体験者から、
今を生きる若い世代へ」



古野四郎『隻腕の波乱人生再起50年』